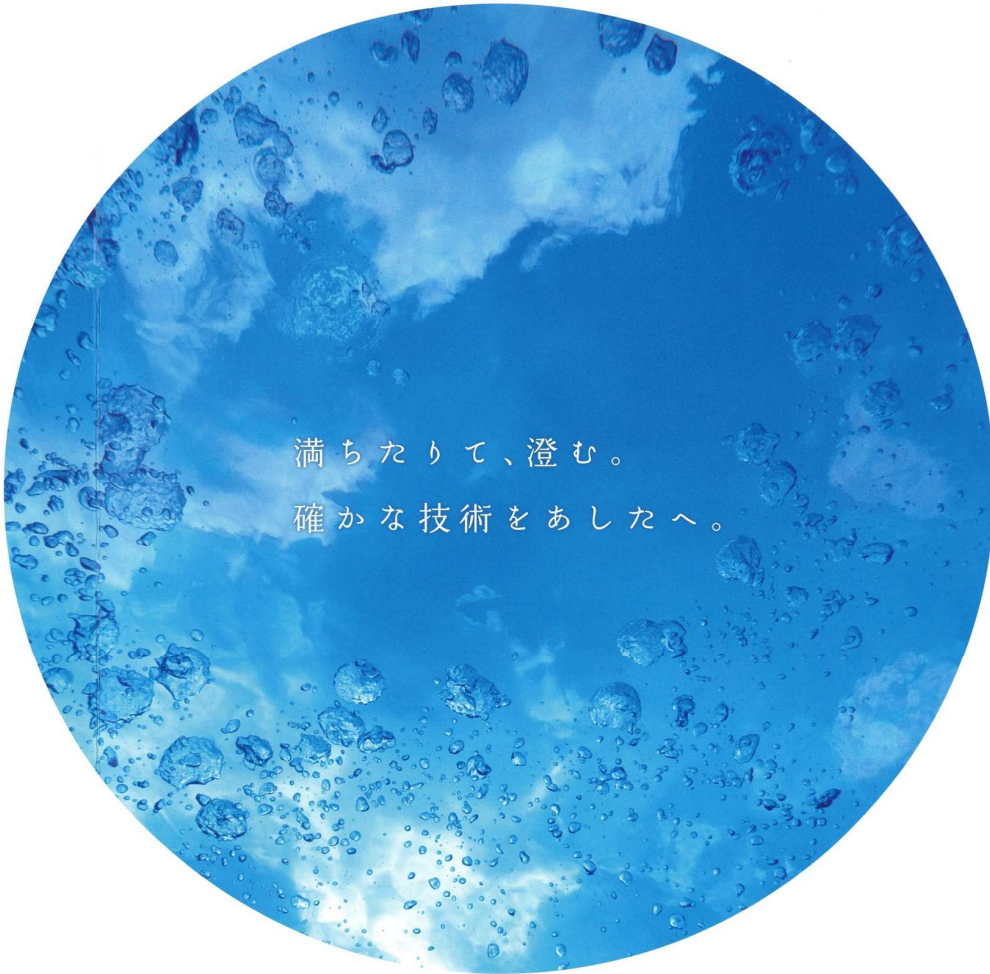


# エコアクション21 環境経営レポート

2022年版



満ちたりて、澄む。  
確かな技術をあしたへ。

(対象期間：2021年10月1日～2022年9月30日)

作成日：2022年 12月 20日

 **World Engineering**

株式会社 ワールドエンジニアリング

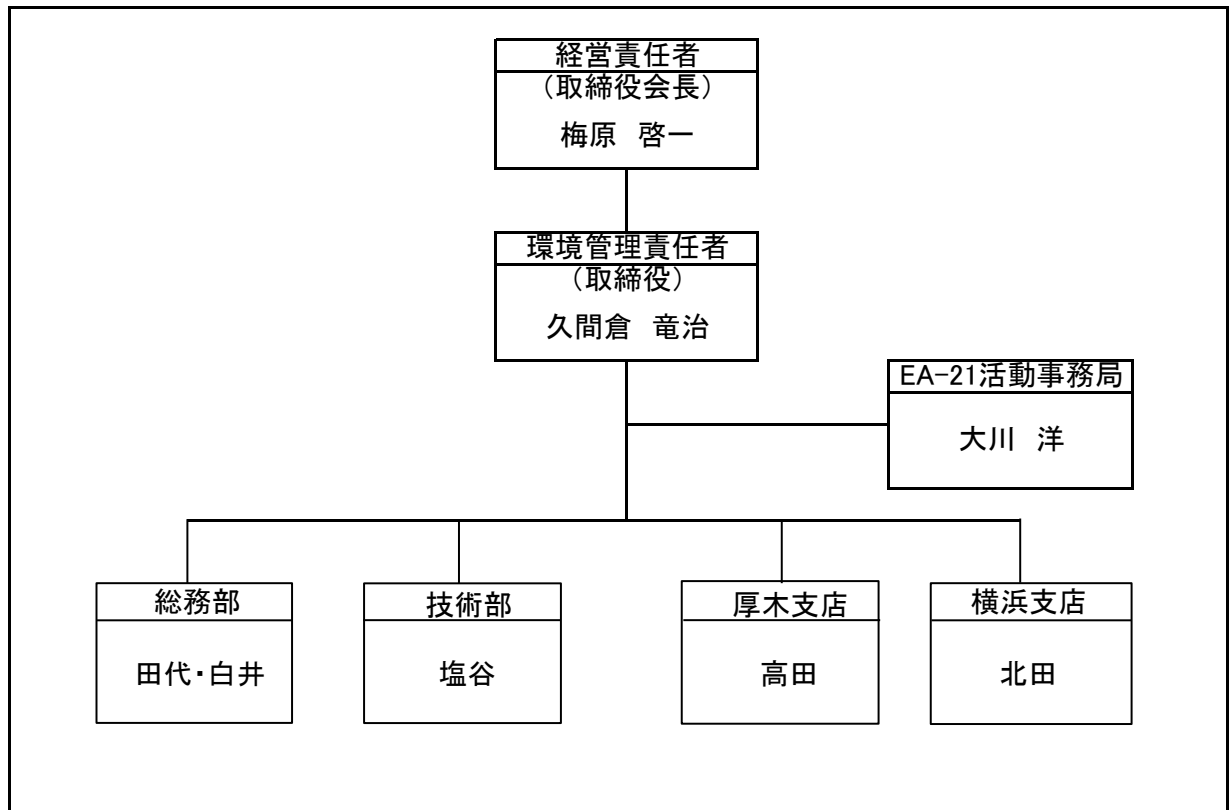
# 目 次

I. 組織の概要	...	P 1
II. 実施体制	...	P 2
III. 環境経営方針	...	P 3
IV. 環境経営目標	...	P 4
V. 環境経営計画	...	P 5
VI. 環境経営目標の実績	...	P 6
VII. 環境経営計画の取り組み結果とその評価、 次年度の取り組み内容	...	P 8
VIII. 当社の取り組み	...	P 9
○地域貢献活動について○	...	P 11
IX. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果	...	P 12
X. 代表者による全体評価と見直し結果	...	P 13
<b>【その他添付資料】</b>		
・環境上の緊急対策		
・訓練記録		
・環境コミュニケーション受付表		

# I 組織の概要

1. 事業者名 株式会社ワールドエンジニアリング
2. 代表取締役会長 梅原 啓一
3. 所在地 本社: 静岡県三島市梅名371-2  
※本社建替工事期間中、三島駅前事務所設置  
(三島駅前事務所の数量は三島本社の数値に含みます)  
厚木支店: 神奈川県厚木市妻田西1-25-14  
横浜支店: 神奈川県横浜市都筑区東山田町1610-1
4. 事業活動 建設工事: 管工事(空調・給排水衛生設備 設計施工・維持)
5. 環境管理責任者及び  
事務局担当者連絡先 環境管理責任者 久間倉 竜治  
事務局担当者 大川 洋  
連絡先 TEL: (055)-984-1244  
FAX: (055)-984-3154
6. 建設業許可 国土交通大臣許可 (特)第22830号 管工事業  
国土交通大臣許可 (般)第22830号 電気工事業
7. 事業の規模  
(2022年9月期) 年間売上高 1,981百万円  
従業員数 44名
8. 事業年度 10月1日～翌年9月30日
9. 認証・登録の対象範囲 活動: 全事業活動  
対象組織: 全社

## II 実施体制



### <環境経営組織における機能>

#### 経営責任者

- ① 経営における課題とチャンスの明確化
- ② 環境経営全般に対するの責任と権限
- ③ 環境方針の作成と社員への周知
- ④ 全体の評価と見直し
- ⑤ 実施体制の構築

#### 環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境目標及び環境計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 活動計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 法規制最新版管理
- ⑥ 文書・記録の管理

#### 各部門

- ① 環境計画の実施
- ② 月別部門データの集計
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

### Ⅲ 環境経営方針

#### 株式会社 ワールドエンジニアリング

##### <企業理念>

株式会社ワールドエンジニアリングは、経営理念、経営基本方針、スローガンに基づき建築設備工事の事業活動を通じて地球温暖化問題への取り組みや、地域の環境活動に自主的、積極的に取り組みます。

また、お客様の立場に立った“安全で安心していただける建築設備”をご提供する事が当社の一歩の環境経営対策と考え、従業員一丸となって取り組んでまいります。

##### <環境方針>

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
  - 1) CO<sub>2</sub>削減の為に省エネ活動に取り組みます。
  - 2) 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組みます。
  - 3) 水資源を有効活用し、節水に努めます。
  - 4) グリーン商品の調達活動に取り組みます。
  - 5) すべての工事に際して、環境に配慮した工事を実施いたします。
  - 6) 廃棄物は、建設リサイクル法による適正処理をいたします。
  - 7) 社有車両のエコドライブに努めます。
  - 8) 品質向上、やり直し工事撲滅のための重点教育を実施いたします。
  - 9) 「CRM報告」システムを活用し、発生時即座に経営者と社員が情報共有できる仕組みの構築に努めます。
  - 10) ICTを活用し、技術管理の向上、業務の効率化に努めます。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び活動経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制及び協定等を遵守致します。
4. 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。  
また、社外にも環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず地域社会とのより良いコミュニケーションを図ってまいります。

制定年月日 2016年 9月20日

改定年月日 2021年 4月 1日

株式会社 ワールドエンジニアリング

代表取締役会長 梅原 啓一

## IV 環境経営目標

### 運用期間(2021年10月～2022年9月)の環境目標(全社)

項目	単位	基準期間		運用期間			
		2020年10月～2021年9月		2021年10月～2022年9月			
		基準値	社員数比率 (43名)	削減率目標	社員数比率目標	目標値※	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	109,485.76	2,546.18	-1%	2520.72	110,912	
内訳	電力	kWh	57,447	1,335.98	-1%	1322.62	58,195
	ガソリン	L	35,732	830.97	-1%	822.66	36,197
	プロパンガス	kg	418	9.72	-1%	9.62	423
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	8.27	192.35	-1%	190.43	8.38
	一般廃棄物	t	3.02	70.23	-1%	69.53	3.06
水使用量	m <sup>3</sup>	222	516.28	-1%	511.12	225	
グリーン購入(事務用品)	品	維持管理		維持管理		維持管理	
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮提案	件	1			3件以上	

<備考>

- ・ 社員数比率は基準値÷社員数とする。ただし、廃棄物排出量においては基準値÷社員数×1000、水使用量においては基準値÷社員数×100で表す。
- ・ 目標値は運用期間に想定される社員数から割り出した数値。※社員数44名で想定
- ・ 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、基準期間、運用期間共に  
東京電力エナジーパートナー(株)「0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWh」(2019年度調整後排出係数)を使用した。

### 中長期・単年毎の環境目標(全社)

項目	単位	基準期間	削減率等			
		2020年10月～2021年9月	1年後	2年後	3年後	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	109,485.76	-1%	-2%	-3%	
内訳	電力	kWh	57,447	-1%	-2%	-3%
	ガソリン	L	35,732	-1%	-2%	-3%
	プロパンガス	kg	418	-1%	-2%	-3%
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	8.27	-1%	-2%	-3%
	一般廃棄物	t	3.02	-1%	-2%	-3%
水使用量	m <sup>3</sup>	222	-1%	-2%	-3%	
グリーン購入(事務用品)	品	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮提案	件	1	3件以上	3件以上	3件以上

<備考>

- ・ 削減率目標は社員数比率での比較です。
- ・ グリーン購入においては通年に渡り、環境に配慮した商品の購入に努める。

## V 環境経営計画

(取組期間: 2021年10月~2022年9月)

環境活動項目【全事業所】		責任者	スケジュール																	
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月						
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	A  unnecessaryアイドリングの禁止(停車時の荷物の積み下し時)																		
		B  不要な荷物を積まない(1回/月チェックする)																		
		C  急発進・急加速の禁止																		
		D  効率的な運行ルートを選定(3ルートについて検討)																		
		E  暖気運転は不要							→											
	運転管理等	A  運転日報の記載・燃費確認(走行キロ数、給油量等)																		
		B  同方向は相乗りの励行																		
		C  低冷房運転の励行	→																	
		D  自動車購入時は省エネ車に切り替え																		
	空調等	A  エアコンの設定温度を夏季28°C、冬季20°Cに設定							→											
		B  クールビズ、ウォームビズの実施							→											
		C  空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回/年)	→									→								
		D  空調機の簡易点検			→				→			→								
	事務所	A  天井照明の間引き(プルスイッチの設置)																		
		B  高効率照明の採用(LED、HF蛍光灯)																		
		C  床暖房設備の運転管理(三島本社)							→											
		D  倉庫の未使用時の電源OFF																		
		E  未使用の部屋の電気OFF																		
F  朝礼時ノー残業デーの周知をする																				
廃棄物の削減	A  コピー用紙の両面使用																			
	B  封筒などの再利用																			
	C  各種類毎の廃棄物置場に収集、分別																			
	D  廃棄物の分別によるリサイクル化向上																			
リサイクルの推進	A  ダンボールをリサイクル																			
	B  発泡スチロールのリサイクル																			
	C  ミックス古紙のリサイクル																			
	D  空き缶、ペットボトルのリサイクル																			
水使用量の削減	A  洗い物、お茶出し等の節水																			
	B  水もれ点検の実施																			
	C  掃除時のバケツ利用																			
	D  使用箇所への節水表示																			
グリーン購入	A  グリーン商品の優先購入	佐藤																		
環境に配慮した自社の取り組み	A  環境に配慮した設備設計の検討																			
	B  アフターサービスからの環境改善提案の推進																			
	C  CRM報告システムの導入																			
	D  得意先へ高効率、エコ機器の提案、宣伝活動																			
地域貢献	A  道路清掃(年3回)(三島本社)							→				→								
	B  社会奉仕活動参加(清掃活動)(三島本社)							→												

## VI 環境経営目標の実績

運用期間(2021年10月～2022年9月)の環境目標の実績(全社)

前年同期実績をベースに、運用期間の実績・評価を以下に示す。

項目	単位	基準期間		運用期間					
		2020年10月～2021年9月		2021年10月～2022年9月					
		基準値	社員数比率 (43名)	削減率目標	社員数比率 (44名)	実績値	削減率※1	評価 ※2	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	109,486	2,546.18	-1%	2,706.54	119,087.82	6.3%	×	
内訳	電力	kWh	57,447	1,335.98	-1%	1,479.27	65,088	10.7%	×
	ガソリン	L	35,732	830.97	-1%	875.49	38,521.71	5.4%	×
	プロパンガス	kg	418	9.72	-1%	7.68	337.82	-21.0%	○
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	8.27	192.35	-1%	248.98	10,955	29.4%	×
	一般廃棄物	t	3.02	70.23	-1%	52.39	2,305	-25%	○
水使用量	m <sup>3</sup>	222	516.28	-1%	492.05	216.5	-5%	○	
グリーン購入(事務用品)	品	維持管理			維持管理		維持管理		○
環境に配慮した 自社の取り組み	環境配慮提 案	件	1		3件以上		3		○

※1 削減率は社員数比率での比較、44名で計算。三島駅前事務所の数量は三島本社の数値に含む。  
※2 削減率 0%～5%を△、5.1%以上は×で記す。

### <考察>

#### 1. 二酸化炭素排出量

##### ・電力

本社建替工事中の為、一部の社員が駅前事務所に移動したことにより電力を使用する場所が増え、増加した。  
コロナ対策による換気回数の増加に伴うエアコン負荷の増加や、厳冬の影響も考えられる。

##### ・ガソリン

コロナ対策として中止されていた会議や安全大会などが徐々に開催されるようになったことや、  
遠方の現場が増加したことにより、社員の移動距離が前年度より増えた為、増加した。

##### ・プロパンガス

三島本社のプロパンガスの使用を廃止した為、減少した。

#### 2. 廃棄物排出量

##### ・産業廃棄物

本社建替工事に伴う引越しの際に、社内や倉庫の片付け等、改めて整理を行い、  
不用品の処分をした為、産廃の量が増加した。  
厚木支店の産廃量が減ったのは、小規模改修工事が少なかった為と考えられる。

##### ・一般廃棄物

本社建替工事に伴う引越しの際に、不要なカタログや不要な書類を処分した為、本社は増加した。  
今後もゴミの分別・リサイクルの声掛けは続けていく。

#### 3. 水使用量

社員の節水への意識が浸透しつつあり、水使用量は前年とあまり変わらない数値となった。  
今後も、継続して節水表示や、社員への節水の意識づけを呼び掛けていく。

#### 4. グリーン購入

通年に渡り、環境に配慮した商品の購入に努める。

#### 5. 環境に配慮した自社の取り組み

物販店、幼稚園、工場の設計において、環境に配慮した設計計画の提案をおこなった。  
高効率空調機、高機能換気(全熱交換ユニット)、井戸水使用による屋上散水の提案

### <是正処置>

今期は本社建替工事に伴う影響を受け、一時的に増加したものと考えられるので  
是正処置は行わず、今後も継続して活動していく。



運用期間(2021年10月～2022年9月)の環境目標の実績

◆三島本社

項目	単位	基準期間		運用期間					
		2020年10月～2021年9月		2021年10月～2022年9月					
		基準値	社員数比率 (29名)	削減率目標	社員数比率 (27名)	実績値	削減率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	73,243.58	2,525.64	-1%	2,817.61	76,075.48	11.6%	×	
内訳	電力	kWh	29,115	1,003.97	-1%	1,241.01	33,507.40	23.6%	×
	ガソリン	L	25,495	879.15	-1%	962.41	25,985.02	9.5%	×
	プロパンガス	kg	418	14.42	-1%	12.51	337.82	-13.2%	○
	産業廃棄物	t	5.72	197.24	-1%	346.67	9.36	75.8%	×
廃棄物排出量	一般廃棄物	t	1.30	44.83	-1%	48.89	1.32	9%	×
水使用量	m <sup>3</sup>	144	496.55	-1%	529.63	143	7%	×	
グリーン購入(事務用品)	品	維持管理		維持管理		維持管理		○	

◆厚木支店

項目	単位	基準期間		運用期間					
		2020年10月～2021年9月		2021年10月～2022年9月					
		基準値	社員数比率 (6名)	削減率目標	社員数比率 (8名)	実績値	削減率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	19,589.11	3,264.85	-1%	3,126.28	25,010.27	-4.2%	○	
内訳	電力	kWh	15,343	2,557.17	-1%	2,069.38	16,555	-19.1%	○
	ガソリン	L	5,527	921.18	-1%	954.18	7,633.41	3.6%	△
	プロパンガス	kg	0	0			0		○
	産業廃棄物	t	2.55	425.17	-1%	199.38	1,595	-53.1%	○
廃棄物排出量	一般廃棄物	t	1.38	230.00	-1%	79.38	0.635	-65%	○
水使用量	m <sup>3</sup>	44.0	733.33	-1%	456.25	36.5	-38%	○	
グリーン購入(事務用品)	品	維持管理		維持管理		維持管理		○	

◆横浜支店

項目	単位	基準期間		運用期間					
		2020年10月～2021年9月		2021年10月～2022年9月					
		基準値	社員数比率 (8名)	削減率目標	社員数比率 (9名)	実績値	削減率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	16,653.08	2,081.64	-1%	2,000.23	18,002.08	-3.9%	○	
内訳	電力	kWh	12,989	1,623.63	-1%	1,669.56	15,026	2.8%	△
	ガソリン	L	4,709	588.63	-1%	544.81	4,903.28	-7.4%	○
	プロパンガス	kg	0	0			0		○
	産業廃棄物	t	0	0			0		○
廃棄物排出量	一般廃棄物	t	0.34	42.50	-1%	38.89	0.35	-8%	○
水使用量	m <sup>3</sup>	34.0	425.00	-1%	411.11	37.0	-3%	○	
グリーン購入(事務用品)	品	維持管理		維持管理		維持管理		○	

## VII 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(取組期間:2021年10月~2022年9月)

環境活動項目【全事業所】		責任者	評価	コメント	今後(次年度)の取組内容
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	A  unnecessaryアイドリングの禁止(停車時の荷物の積み下し時)	○	従業員のエコドライブ意識が浸透し、継続出来ている。	継続実施
		B  不要な荷物を積まない(1回/月チェックする)	○		
		C  急発進・急加速の禁止	○		
		D  効率的な運行ルートを選定(3ルートについて検討)	○		
		E  暖気運転は不要	○		
	運転管理等	A  運転日報の記載・燃費確認(走行キロ数、給油量等)	○	運転日報が期日通り提出できている。社用車へのドライブレコーダーの取付が完了した。	次年度中にアルコールチェッカーの導入を行う予定。
		B  同方向は相乗りの励行	○		
		C  低冷房運転の励行	○		
		D  自動車購入時は省エネ車に切り替え	○		
	空調等	A  エアコンの設定温度を夏季28℃、冬季20℃に設定	○	社員の制服にポロシャツを導入し、クールビズを推進した。	継続実施
		B  クールビズ、ウォームビズの実施	○		
		C  空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回/年)	○		
		D  空調機の簡易点検	○		
	事務所	A  天井照明の間引き(プルスイッチの設置)	○	天井照明の間引きの徹底や、照明のスイッチに節電表示をし、社員の節電の意識が浸透してきている。	継続実施
		B  高効率照明の採用(LED、HF蛍光灯)	○		
		C  床暖房設備の運転管理	○		
		D  倉庫の未使用時の電源OFF	○		
		E  未使用の部屋の電気OFF	○		
		F  朝礼時ノー残業デーの周知をする	○		
廃棄物の削減	A  コピー用紙の両面使用	○	ゴミの分別表示をし、分別を心掛けた。産廃業者への聴き取りの結果、産廃廃棄物の再資源化率はほぼ100%であった。	ゴミの分別方法を会議等で再度説明するなどし、社員のゴミ削減への意識向上に努める。	
	B  封筒などの再利用	○			
	C  各種類毎の廃棄物置場に収集、分別	○			
	D  廃棄物の分別によるリサイクル化向上	○			
リサイクルの推進	A  ダンボールをリサイクル	○	社員のリサイクルへの意識を高め、再資源化に努めた。	継続実施	
	B  発泡スチロールのリサイクル	○			
	C  ミックス古紙のリサイクル	○			
	D  空き缶、ペットボトルのリサイクル	○			
水使用量の削減	A  洗い物、お茶出し等の節水	○	使用箇所へ節水表示をし、社員の意識を向上させた。	継続実施	
	B  水もれ点検の実施	○			
	C  掃除時のバケツ利用	○			
	D  使用箇所への節水表示	○			
グリーン購入	A  グリーン商品の優先購入	佐藤	○	環境に配慮した商品の購入に努めた。	継続実施
環境に配慮した自社の取り組み	A  環境に配慮した設備設計の検討	大川	○	クレームに対し、フィードバックを行い再発防止に努めた。環境に配慮した設備設計として、高効率空調機、高機能換気の提案をおこなった。	継続実施
	B  アフターサービスからの環境改善提案の推進		○		
	C  CRM報告システムの導入		○		
	D  得意先へ高効率、エコ機器の提案、宣伝活動		○		
地域貢献	A  道路清掃(年3回)(三島本社)	大川	○	年3回の道路清掃を、予定通り実施できた。今後も継続していく。	継続実施
	B  社会奉仕活動参加(清掃活動)(三島本社)		○		

## Ⅷ 当社の取り組み

### ○社内注意書きで社員の意識づけ○



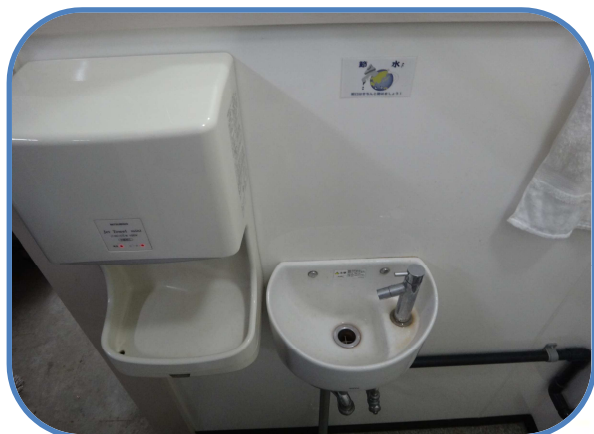
### ○ゴミの分別で資源の有効活用○



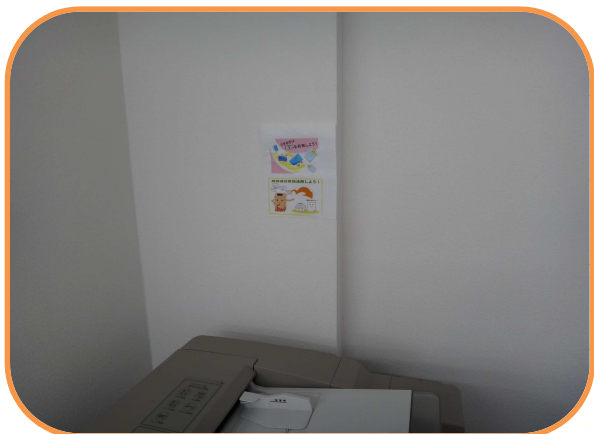
### ○LED照明、プルスイッチの導入○



厚木支店



横浜支店



## ○地域貢献活動について○

三島市道路里親制度  
道路清掃作業  
2022. 9. 13

年間3回(5月、9月、2月)  
梅名地区内の道路の  
清掃作業を行っています。



静岡県設備協会  
社会奉仕活動参加  
2022. 2. 21

国道1号沼津バイパス清  
掃活動(東町交差点周辺)



## Ⅹ 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

作成日 2021年10月1日

評価日 2022年9月30日

評価者 環境管理責任者 久間倉 竜治

法規・条例・規制		条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価		
義務	廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○		
		第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	・保管基準の遵守、保管場所の表示(60cm×60cm以上掲示) ・廃棄物の悪臭・飛散防止	○		
		第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○		
		第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○		
		第12条の3第1項	マニフェストの交付		○		
		第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○		
		第12条の3第3項	収集・運搬業者の管理票交付者へのマニフェスト返却	B1票の90日以内の送付等	○		
		第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○		
		第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○		
		第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのB2(90日以内)、D、E票(180日以内)の期間内返却	○		
	建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	第5条	建設業者の責務	分別の励行、リサイクルの推進	—		
		第10条	対象建設工事の発注者又は自主施工者の対象工事の届出	発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに市長に届出書を提出	—		
		第12条	対象建設工事受注者の発注者への届出事項の説明		—		
		第16条	対象建設工事受注者の再資源化等の実施		—		
		第18条	対象建設工事の元請業者による発注者への特定建設資材廃棄物の再資源化工事等の完了報告	発注者への完了報告	—		
	振動規制法	第15条	特定施設の届出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(指定地域・時間帯規制)	○		
	浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○		
		第10条の2	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事へ提出	○		
		第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	○		
	家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電(テレビ・冷蔵庫他)廃棄時のサイクル料金の支払	○		
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務 簡易点検の実施(3ヶ月に1度)	○		
		第47条第3項	フロン類充填量及び回収量の知事報告	毎年5月までに報告書提出	○		
	建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○		
		第26条	主任技術者の設置		○		
		第26条	監理技術者の設置		○		
	水道法	第25条の2	指定給水装置工事事業者の指定	給水装置工事主任技術者	○		
	下水道法	第22条	設計者等の資格	技術士、第一種技術検定等	○		
	静岡県条例	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第82条	産業廃棄物管理責任者の設置		○	
			第10条	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○	
	責務・努力	法令	環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
			地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力(温室効果ガス抑制措置)	EA21の取組	○
			循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力(廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進)	○
グリーン購入法(国等による環境物品等の調達に関する法律)			第5条	事業者の責務(国等の施策への協力等)	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○	

### 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

## X 代表者による全体評価と見直し結果

作成 2022年12月20日

項目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
1・見直し関連情報	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録、文書として作成しました。
	2 環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 会社の成長を考慮し、目標は、「社員数比率」で検討した。
	3 環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組み中です。
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙にて記載しました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙にて報告するようにします。
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙報告の通り。
	8 その他( )	<input type="checkbox"/>

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>実績の考察にも記入されておりますが、2022年は本社建替工事のスタートにより、一時的な数値の弊害が出てしまいました。2023年8月に完成予定ですので、また、そこから再スタートです。近年、カーボンニュートラルやフロン抑制法の対応に社会が当たり前に変わってきました。現場でも産廃の分別の細分化や、建替工事着工時のフロンの残存確認の対応が当然になってきています。弊社もエコアクション21に取り組んでいるおかげで社員の意識が高く、元請現場では率先して月1回の災害防止協議会等で協力業者にも指導しております。また、引続き、三島市と提携している道路清掃ボランティアと設備協会会員として参加している沼津市の道路清掃ボランティアと両輪できちんと地域貢献をしていく所存です。</p> <p style="text-align: right;">2022年12月20日 株式会社ワールドエンジニアリング 代表取締役会長 梅原 啓一</p>		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2 環境目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3 環境活動計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4 環境に関する組織	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	5 その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	6 その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

# 環境上の緊急対策

## 〈緊急時対策〉

作成日：2022年09月13日

作成者：白井

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン1	勤務中の大地震	自然災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルメット、避難袋の設置</li> <li>・保存食料(保存飲料水)の消費期限の確認</li> <li>・地震時の行動確認</li> <li>・事務所内で勤務中、発震があった場合まずは自身の身を守る為、机の下等に移動する。</li> <li>・全ての避難行動において自身の身の安全を守る事を最優先とする。</li> <li>・初期震動がおさまったら、火の元の確認、発熱物の確認、エアコン等を消し、ヘルメットと避難袋を持ち、玄関前、駐車場に集合し、点呼を行う。</li> <li>・想定在室者が全員揃ったら、その時の最上位役職者に社員の誘導を任せ、地域の指定避難場所へ避難する。避難社員を記録する。</li> </ul>

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2022.09.13	勤務中の大地震	東日本大地震等の影響を受けての緊急訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定避難場所までの避難ルートを確認する。</li> <li>・全員ヘルメット着用、避難袋を持ち、指定避難場所までの所要時間を計測する。</li> </ul>

参加者

当日、在社全社員 9名

### ○評価と改善策

#### 評価

- 1.本社西側出入口に全員集合するのに2分、指定避難所(三島市立中郷小学校)へ移動するまで8分であった。
- 2.国道を横断する際に、歩道橋を使わず平面の横断歩道を横断した。停電で信号機が作動していない場合、国道の横断は、警察官の交通誘導又は復電が必要の可能性があることを再認識した。
- 3.ヘルメットのごひも着用の仕方を女性社員に再指導した。内履き(スリッパ)で避難した社員がいたため、避難時は靴の着用を徹底させる。
- 4.保存食・保存水の消費期限の全数確認を実施した。  
対応策は有効であることが確認出来た。

#### 改善策

本社建替が完了するまで、避難ルートが変更となるため、避難ルートを本社社員に周知する。



## ○訓練記録○



勤務中の大地震を想定し、避難訓練を行いました。  
指定避難所までの避難ルートを確認し、全員ヘルメット着用、避難袋を持ち、指定避難所までの所要時間を計測しました。  
2022. 9. 13

# 環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当:

NO.	情報入手日	情報種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容
					連絡先			
1	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
2	/	対策 ・ 苦情		メール ・ ( )			必要・不要	
3	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
4	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
5	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
6	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
7	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
8	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	

今年度は苦情はありませんでした。